

2005年（平成17年）の天候

2005年（平成17年）の特徴：

○**気温は平年並傾向** 年平均気温平年差は北日本+0.2℃、東日本+0.2℃、西日本+0.3℃、南西諸島+0.1℃で気温は西日本で高いほかは平年並だった。年の前半は寒気が南下しやすい傾向にあり、5月にオホーツク海高気圧の影響で北日本が低温となるなど、気温は全国的に平年並から低く経過することが多かったが、6月以降には寒気が南下しにくくなり、6月、9月、10月には記録的な高温となるなど全国的に高温傾向となった。11月中頃以降は再び寒気が南下しやすくなり、12月は全国的に極端な低温となった。

○**12月の記録的低温と大雪** 12月は強い冬型の気圧配置が続いたため、12月の平均気温は1985年以来20年ぶりの全国低温となり、東日本、西日本の気温は1946年の地域平均統計開始以降の低い記録を更新した。また、日本海側の地方を中心に12月としては記録的な大雪となり、北日本から西日本にかけての気象官署24地点で12月の降雪の深さ合計値の最大記録を更新し、9地点で月最深積雪の最大記録を更新した。

○**春から夏にかけて東日本太平洋側、西日本で極端な少雨、西日本中心の渇水** 6月下旬まで太平洋高気圧の北への張り出しが弱く、梅雨前線が日本の南海上にあることが多かったため、西日本や東日本太平洋側では少雨となった。梅雨前線は7月上旬頃一時的に活発となったが、梅雨明け後は太平洋高気圧に覆われ晴れて少雨の状態が続いた。9月初めに上陸した台風第14号の降雨により渇水状況は概ね解消したが、その後も秋の降水量が少なく西日本や南西諸島の一部では渇水状況となっている。

○**台風の発生数は少なく、上陸数、接近数は平年並** 台風の発生数は23個（平年26.7個）と少なかった。平成16年は記録的な10個の台風の上陸があったが、平成17年には台風第14号の上陸により九州地方を中心に大きな被害があったものの、年間の上陸数は3個（平年2.6個）と平年並だった。また、接近数も12個（平年10.8個）と平年並だった。

1 概況

平成16年12月下旬頃から短い周期で冬型の気圧配置となり、寒暖の変動の大きな状態が冬を通じ継続した。北日本日本海側の降雪量は平年を上回り、東日本以西の日本海側の降雪量は平年を下回ったが、東北地方や北陸地方の山沿いでは大雪となった地域もあった。

3月から4月にかけても天気が短い周期で変化し、5月にはオホーツク海高気圧が出現して北日本を中心に寒気の影響を受けるなど、1月から5月にかけては北極の寒気が日本付近に南下しやすい状態が続き、気温の変動が大きかった。

6月後半以降はそれまでの寒気の南下傾向が弱まって気温が平年を上回ることが多くなり、6月、9月、10月は記録的な高温となった。6月には梅雨前線が南西諸島から本州南岸に停滞することが多く、南西諸島では記録的な多雨となったが、6月終わりごろからは梅雨前線が本州に停滞することが多くなり、北陸地方などで大雨となった。梅雨入りは概ね平年よりも遅く、

東北地方を除き梅雨明けはほぼ平年並か早かった。4月以降に少雨が続いた東日本太平洋側から西日本にかけては、6月の降水量が記録的に少なくなったことから四国地方を中心に渇水状況となった。その後、9月初めに上陸した台風第14号の降雨により渇水状況は概ね解消したが、秋の降水量も少なかったことから西日本や南西諸島の一部では渇水状況となっている。

9月から10月も日本付近は寒気の入りにくい状態が続き、高気圧に覆われて晴れて気温の高い日が多かったが、11月中旬頃から日本付近に寒気が再び南下しやすくなり、12月は極端な低温が続き、日本海側では記録的な大雪となった。

平成17年の台風の発生数は23個（平年26.7個）と少なかった。また、台風第14号の上陸により九州地方を中心に大きな被害があったが、上陸数は3個（平年2.6個）、接近数は12個（平年10.8個）と平年並だった。盛夏期から秋にかけて太平洋高気圧が西に張り出したため、台風は日本の南海上を西進することが多かった。

2 気温、降水量、日照時間等の気候統計値

(1) 平均気温

年平均気温は、西日本では高かったが、そのほかの地域では平年並だった。北日本と東日本では平年を0.2℃上回り、西日本では0.3℃上回った。また、南西諸島では平年を0.1℃上回った。

(2) 降水量

年降水量は、北日本から東日本にかけての日本海側では多かったが、北日本から東日本にかけての太平洋側と西日本では少なく、特に東海地方から四国地方にかけてはかなり少なかった。南西諸島では平年並だった。伊良湖（愛知県）、名古屋（愛知県）、津（三重県）、尾鷲（三重県）、室戸岬（高知県）の5地点で年降水量の最小値を更新した。

(3) 日照時間

年間日照時間は、北日本から東日本にかけての日本海側で少なく、南西諸島ではかなり少なかった。一方、東日本から西日本にかけての太平洋側では多く、北日本太平洋側と西日本日本海側は平年並だった。

地域平均平年差（比）と階級（2005年）

	気温 平年差 ℃（階級）	降水量 平年比 %（階級）	日照時間 平年比 %（階級）		気温 平年差 ℃（階級）	降水量 平年比 %（階級）	日照時間 平年比 %（階級）
北日本	0.2 (0)	100 (0) 日 110 (+) 太 91 (-)	97 (-) 日 96 (-) 太 98 (0)	北海道	0.3 (+)	100 (0) 日 109 (+) オ 90 (-) 太 93 (-)	99 (0) 日 99 (0) オ 101 (0) 太 100 (0)
東日本	0.2 (0)	88 (-) 日 113 (+) 太 81 (-)	103 (+) 日 95 (-) 太 105 (+)	東北	0.1 (0)	99 (0) 日 115 (+)* 太 88 (-)	94 (-) 日 91 (-) 太 96 (-)
西日本	0.3 (+)	80 (-)* 日 83 (-) 太 78 (-)*	104 (+) 日 102 (0) 太 105 (+)	関東甲信 北陸 東海	0.2 (0) 0.3 (+) 0.2 (+)	87 (-) 113 (+) 72 (-)*	104 (+) 95 (-) 105 (+)
南西諸島	0.1 (0)	101 (0)	92 (-)*	近畿	0.3 (+)	74 (-)* 日 95 (0) 太 66 (-)*	103 (+) 日 101 (0) 太 104 (+)
				中国	0.4 (+)	82 (-) 陰 89 (-) 陽 73 (-)*	102 (0) 陰 99 (0) 陽 106 (+)
				四国	0.3 (+)	77 (-)*	107 (+)*
				九州北部	0.4 (+)	79 (-)	103 (+)
				九州南部	0.1 (0)	92 (0)	102 (0)
				本 奄	0.2 (+) 0.0 (0)	本 92 (0) 奄 95 (0)	本 104 (+) 奄 94 (-)
				沖縄	0.2 (+)	104 (0)	92 (-)*

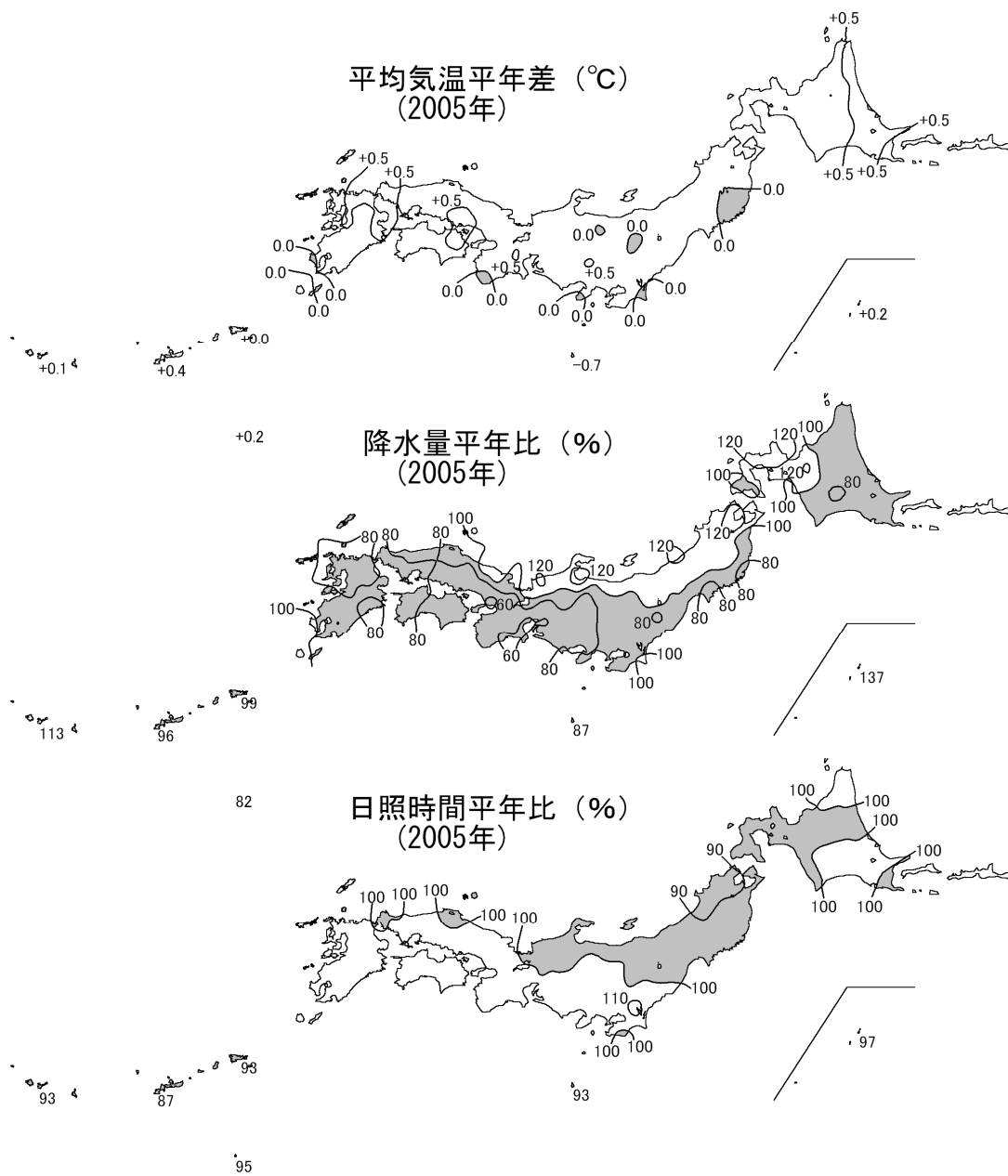
階級表示 (-):低い(少ない) (0):平年並 (+):高い(多い)
(*)はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
オ:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
太:太平洋側

(注)・基礎となるデータは全国の気象台・測候所等での観測値で、観測所数は 153 地点である。このうち、降雪の深さ、最深積雪については、観測を行っている 124 地点が対象である。

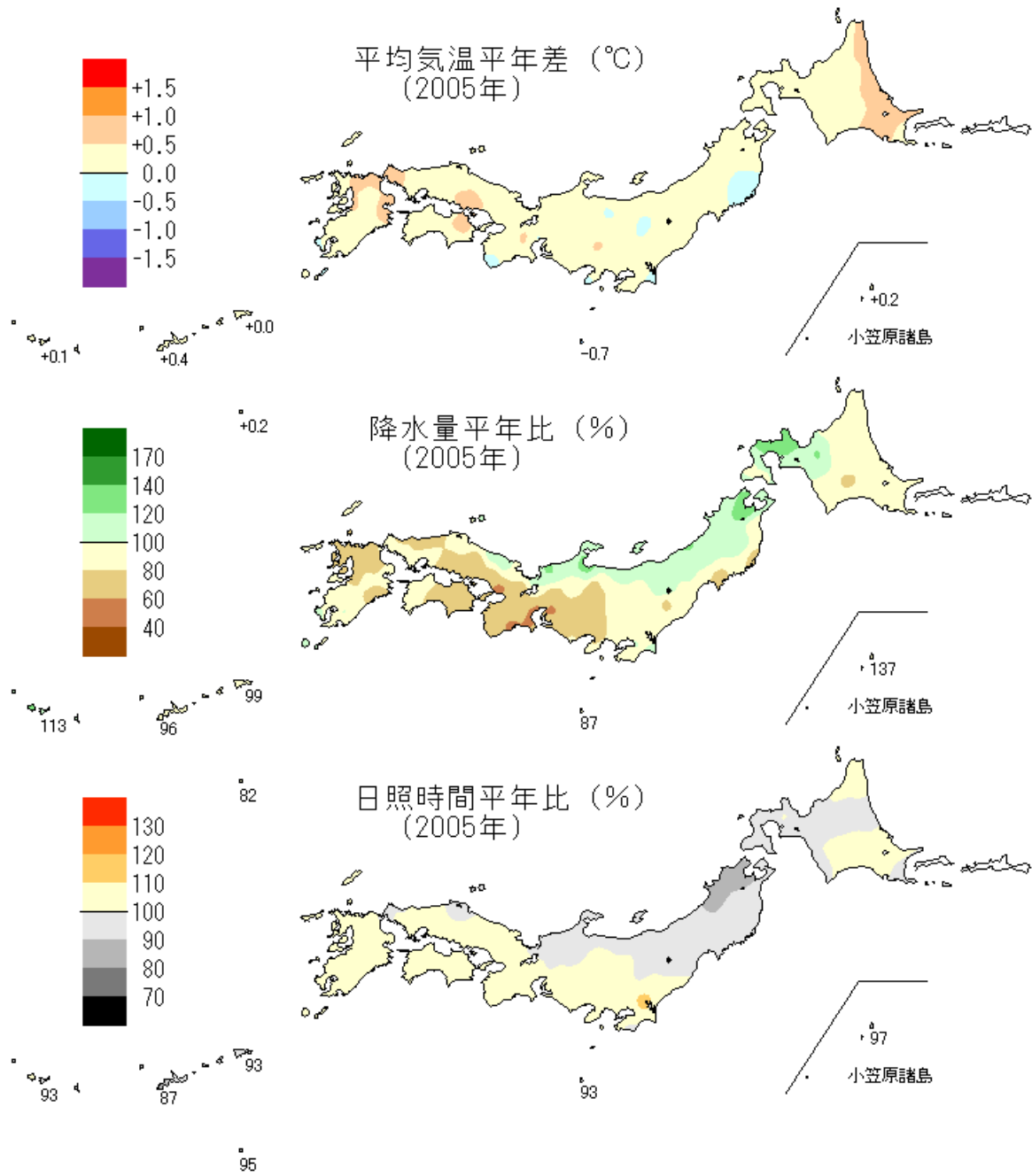
・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1971~2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1971~2000年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

平年差（比）図（2005年）（等値線図）



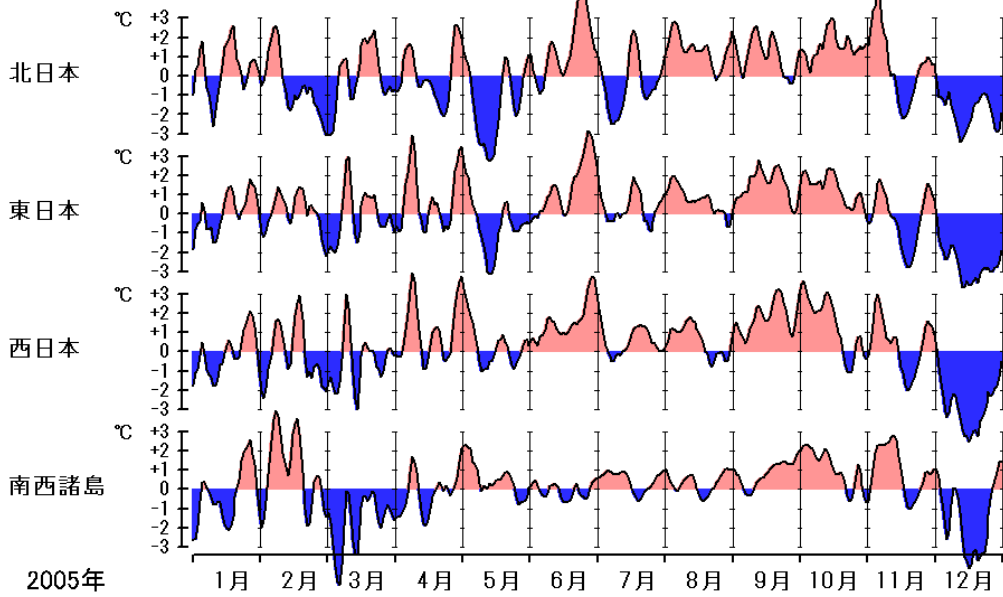
注) 陰影の部分は、平年値より低い（少ない）地域を示す。

平年差（比）図（2005年）

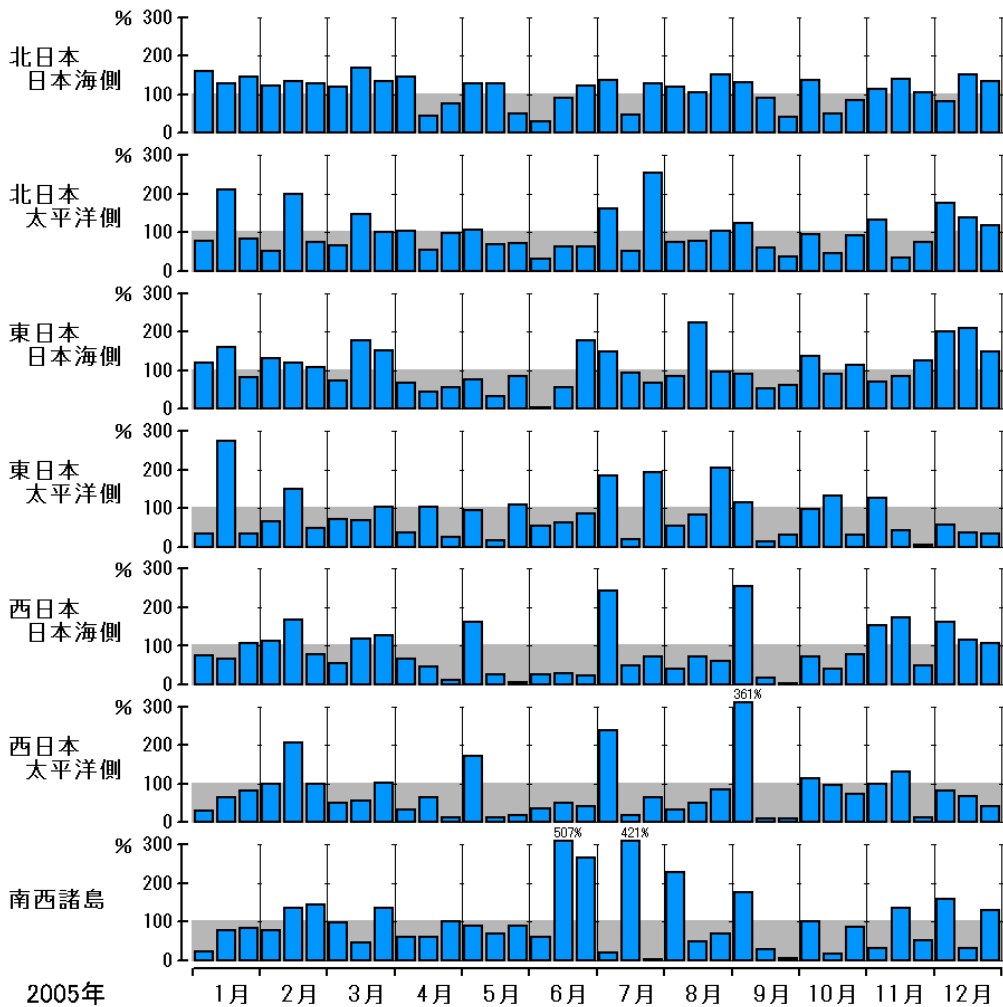


地域平均平年差（比）の経過

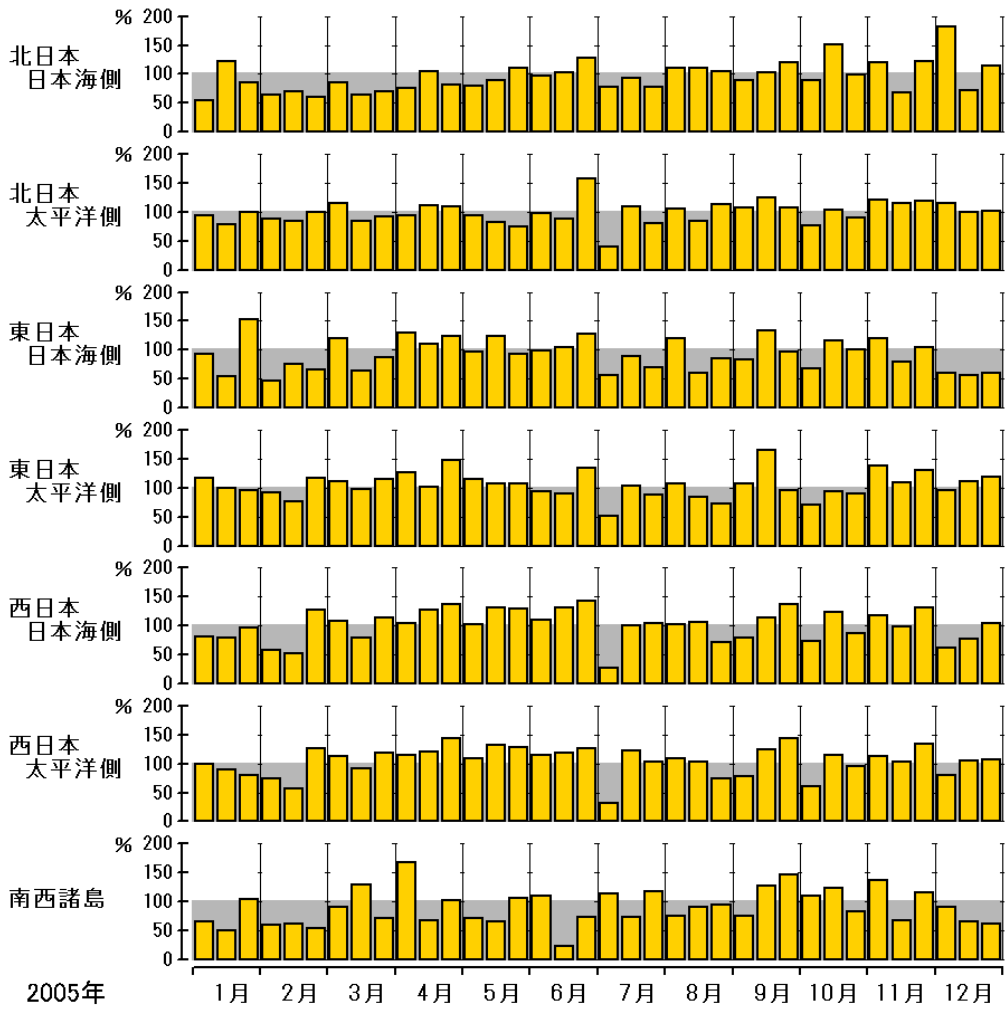
平均気温平年差(5日移動平均)



降水量平年比(旬別)



日照時間平年比(旬別)



観測史上1位の値（月、3か月、年別値）の更新状況

- ・数字は1位を更新した地点数でタイ記録は含めない、タイ記録がある場合には「タイ地点数」として横に併記した
- ・地域は更新およびタイ記録の地点数の合計が5以上のとき記載

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の深さ	最深積雪
	最高	最低	最大	最小	最大	最小	最大	最大
1月	0	0	2	0	0	1	0	0
2月	0	1	3	0	0	8 北・東日本 南西諸島	2	1
冬	0	0	7 北・東・西日本	0	0	2	1	
3月	0	3、タイ3 北・西日本 南西諸島	0	0	0	2	2、タイ1	4
4月	0	0	0	12 西日本	6 西日本	1	0	0
5月	0	0	0	0	5 西日本	0		
春	0	0	0	18 東・西日本	19 東・西日本	0		
6月	38、タイ9 北・東・西日本	0	4	29 北・東・西日本	0	0		
7月	0	0	1	4	0	0		
8月	0	0	1	1	0	0		
夏	0	0	2	2	0	0		
9月	4、タイ2 東・西日本	0	0	0	2	0		
10月	6、タイ2 北・西日本	0	0	0	0	0		
11月	0	0	0	0	8 北・東・西日本	0	0	0
秋	5、タイ6 北・西日本	0	0	2	0	0		
12月	0	29、タイ8 北・東・西日本	5 東・西日本	タイ3	7 北日本	0	24、タイ1 北・東・西日本	9、タイ1 北・西日本
年 (2005年)	0	0	0	5 東・西日本	0	0		

3 季節別の天候経過

冬（昨年12月～2月）：

12月中旬までは冬型の気圧配置がほとんどあられわれず、暖かな日が続いたが、12月下旬頃から冬型の気圧配置が短い周期で現れやすくなった。日本付近を低気圧や前線が通ることが多く、低気圧に向かって暖気が入り、通過後には寒気が南下するなど、気温の変動が大きかった。また、低気圧がしばしば日本付近を通過したことから太平洋側の地方でも雨や雪となるなどほぼ全国的に降水量は平年を上回り、日照時間は平年を下回った。北日本日本海側では、冬型の気圧配置による降雪に加え、低気圧の通過に伴う降雪もあり降雪量は平年を上回った。また、東日本以西の日本海側の降雪量は平年を下回ったが、北陸地方の山沿いでは大雪となった地域もある。

平均気温は東日本、南西諸島は高く、北日本、西日本は平年並だった。**降水量**は北日本から西日本で多く、南西諸島で平年並だった。**日照時間**は北日本、西日本、南西諸島で少なく、東日本では平年並だった。

春（3～5月）：

3月から4月にかけては、天気が短い周期で変化し気温の変動が大きかった。5月はオホーツク海高気圧が出現し、北日本を中心に寒気の影響を受けた。北日本では3月を中心に低気圧や前線の影響を受ける日が多く、東・西日本では4月を中心に移動性高気圧に覆われ晴れる日が多かった。また、南西諸島では前半に強い寒気の影響を受けた。移動性高気圧に覆われ晴れる日が多かった東・西日本は少雨・多照となり、太平洋側では降水量が平年を大きく下回った。また、低気圧や前線のほか、オホーツク海高気圧の影響を受けた北日本では、低温・寡照となり、春前半に強い寒気の影響を受けた南西諸島でも低温となった。また、オホーツク海高気圧の影響を一時的に受けた東日本で気温が平年並となり、移動性高気圧に覆われ晴れる日が多かった西日本では高温となる等、地域による差が大きかった。

平均気温は北日本と南西諸島は低く、西日本では高く、また東日本では平年並だった。**降水量**は北日本日本海側が多かったほかは少なかった。**日照時間**は北日本で少なく、東・西日本で多く、南西諸島は平年並だった。

夏（6～8月）：

太平洋高気圧の勢力は平年に比べやや強い程度だったが、北半球全体が高温傾向となり夏平均気温は全国で高温となった。6月は梅雨前線が南西諸島から本州南岸に停滞することが多く、南西諸島では記録的な多雨となった。6月終わりごろからは梅雨前線が本州に停滞することが多くなり、北陸地方などで大雨となった。また、オホーツク海高気圧が7月前半を中心に出現し、北日本では7月の月平均気温が低温となった。東日本太平洋側から西日本にかけて6月の降水量が記録的に少なく、また4月以降に少雨がつづいたこともあって、これらの地域では渇水状況となった。その後、7月には梅雨前線の活動が活発となり多雨となったものの、西日本では8月になって再び太平洋高気圧に覆われ少雨となり、四国地方を中心に渇水状況が継続した。7月から8月にかけては大気が不安定となりやすく、ほぼ全国的に雷日数が平年を上回った。

梅雨入りは南西諸島を除き平年よりも遅く、特に九州南部、北陸、東北北部では平年より2週間程度遅かった。梅雨明けは沖縄地方で4日遅く、東北地方で10日程度遅かったほかはほぼ平年並ないし早かった。

夏の台風の発生は 10 個（平年 11.2 個）、上陸数は 2 個（平年 1.5 個）、また、南西諸島に接近した台風は 4 個（平年 4.4 個）で、おおむね平年並だった。

平均気温は南西諸島で平年並のほかは高かった。**降水量**は南西諸島で多く、北・東日本大平洋側と西日本日本海側で少ないほかは、平年並だった。**日照時間**は南西諸島で少なく、北日本日本海側で平年並のほかは、多かった。

秋（9～11月）：

9 月には太平洋高気圧の日本付近への張り出しが強く、全国的に暑い日が多かった。10 月には太平洋高気圧の張り出しは弱まったものの、日本付近は寒気の入りにくい大気の流れが続き、暖かな日が続いた。11 月上旬の終わり頃から下旬はじめにかけ、日本付近に寒気が入り、北・東日本を中心に一時気温は平年を下回ったが、9、10 月と高温が著しかったことから、秋（9～11 月）平均気温も全国的にかなり高かった。

降水量は、9 月に台風第 14 号の影響を受け、11 月に低気圧の影響を受けた西日本の一部や、10、11 月と低気圧や前線の影響を受けた北日本日本海側で平年を上回ったほかは平年を下回った。特に、北・東日本太平洋側や南西諸島では、秋（9～11 月）降水量は平年の 70%程度と少雨が顕著であった。一方、日照時間は、10 月に本州南岸に前線が停滞したことから、広い範囲で平年を下回ったものの、太平洋高気圧の張り出しが強く、晴れて暑い日の続いた 9 月や、移動性高気圧に覆われて晴れる日の多かった 11 月と、秋（9～11 月）日照時間はほぼ全国的に平年を上回り、北・東日本太平洋側で顕著であった。

秋の台風の発生は、9 個（平年 11.5 個）で、平年を下回った。上陸は第 14 号の 1 個（平年 1.0 個）、南西諸島に接近した台風は 3 個（平年 2.8 個）で、平年並であった。

平均気温は全国で高かった。**降水量**は、北・東日本の大平洋側と南西諸島で少なく、そのほかは平年並だった。**日照時間**は東日本日本海側で平年並のほかは全国で多かった。

5 全国気候表 2005年

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
札幌	8.9	(+0.4)	+	1236.5	(110)	+	141	1700.5	(96)	-
稚内	7.1	(+0.5)	+	1051.0	(99)	○	144	1560.7	(105)	+
北見枝幸	6.4	(+0.6)	+	1003.0	(83)	-*	148	1592.1	(101)	○
旭川	6.7	(0.0)	○	973.0	(91)	-	150	1567.1	(97)	○
留萌	7.6	(0.0)	○	1170.0	(99)	○	163	1552.6	(100)	○
羽幌	7.7	(+0.3)	+	1155.5	(89)	-	162	1619.3	(101)	○
岩見沢	7.5	(+0.1)	○	1398.0	(121)	+*	159	1722.0	(99)	○
倶知安	6.9	(+0.2)	○	1849.0	(123)	+*	187	1470.3	(101)	○
小樽	8.4	(0.0)	○	1547.0	(127)	+*	180	1567.1	(95)	-
寿都	8.6	(+0.1)	○	1496.0	(128)	+*	175	1425.6	(97)	○
網走	6.9	(+0.7)	+	767.5	(96)	○	124	1915.8	(103)	○
紋別	6.7	(+0.6)	+	762.5	(91)	○	116	1710.7	(100)	○
雄武	6.0	(+0.5)	+	807.0	(90)	-	107	1686.8	(99)	○
釧路	6.5	(+0.6)	+	934.0	(89)	-	101	1954.5	(101)	○
根室	6.5	(+0.4)	+	946.0	(92)	○	105	1800.7	(97)	-
帯広	6.9	(+0.4)	+	734.0	(80)	-*	81	2114.0	(105)	+
広尾	7.0	(+0.4)	+	1591.5	(91)	○	123	1854.5	(100)	○
室蘭	8.5	(+0.1)	○	1334.5	(109)	+	138	1710.7	(98)	○
苫小牧	7.5	(0.0)	○	1213.5	(99)	○	110	1738.1	(100)	○
浦河	7.9	(+0.1)	○	972.5	(88)	-	124	1867.8	(99)	○
函館	9.2	(+0.4)	+	1148.0	(99)	○	140	1737.3	(97)	○
江差	10.1	(+0.3)	○	1177.0	(100)	○	172	1401.5	(95)	-
青森	10.1	(0.0)	○	1626.5	(126)	+*	179	1489.1	(89)	-*
深浦	10.6	(0.0)	○	1702.0	(115)	+	191	1305.4	(86)	-*
むつ	9.4	(0.0)	○	1377.0	(106)	+	156	1555.6	(93)	-
八戸	10.1	(+0.1)	○	887.0	(89)	-	104	1835.2	(95)	-
秋田	11.7	(+0.3)	+	1821.0	(106)	○	192	1396.5	(87)	-*
盛岡	10.0	(0.0)	○	1376.5	(110)	+	143	1640.6	(94)	-
大船渡	11.1	(0.0)	○	1224.0	(81)	-	106	1745.1	(95)	-
宮古	10.3	(-0.2)	○	1027.0	(79)	-	82	1864.5	(97)	-
仙台	12.2	(+0.1)	○	1028.5	(83)	-	101	1770.4	(96)	-
石巻	11.4	(0.0)	○	821.5	(77)	-	94	1920.8	(97)	-
山形	11.6	(+0.1)	○	1196.0	(106)	○	160	1536.3	(93)	-
新庄	10.7	(+0.2)	○	2135.0	(116)	+	216	1259.3	(93)	-
酒田	12.7	(+0.4)	+	2243.5	(121)	+*	204	1475.5	(93)	-
福島	12.9	(+0.1)	○	1068.0	(97)	○	116	1691.1	(95)	-
若松	11.4	(0.0)	○	1319.5	(116)	+	166	1504.0	(93)	-
白河	11.4	(+0.1)	○	1055.0	(77)	-	115	1728.3]	()	
小名浜	13.2	(+0.1)	○	1127.5	(82)	-	104	(統計月数:11) 2086.8	(101)	○
水戸	13.4	(0.0)	○	1147.0	(87)	-	102	2016.9	(107)	+
館野(つくば)	13.7	(+0.2)	+	1132.0	(92)	-	87	2067.9	(113)	+
宇都宮	13.8	(+0.4)	+	1333.0	(92)	-	107	2009.3	(104)	○
日光	6.6	(-0.1)	○	1886.5	(90)	-	142	1672.6	(93)	-

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
前橋	14.5	(+0.3)	○	1114.0	(96)	○	107	2177.3	(107)	+
熊谷	15.0	(+0.4)	+	1190.5	(96)	○	87	2145.4	(107)	+
秩父	13.0	(+0.2)	○	1252.0	(99)	○	93	1996.5	(106)	+
東京	16.2	(+0.3)	○	1482.0	(101)	○	94	1965.0	(106)	+
大島	15.9	(+0.1)	○	2663.0	(94)	○	109	1866.1	(105)	+
三宅島	17.5	(0.0)	○	2798.5	(96)	○	112	1721.0	(100)	○
八丈島	17.6	(-0.7)	-*	2721.0	(87)	-	152	1403.4	(93)	-
父島	23.2	(+0.2)	+	1751.0	(137)	+*	109	2006.3	(97)	-
千葉	15.8	(+0.4)	+	1314.5	(102)	○	95	2012.4	(108)	+
銚子	14.9	(-0.4)	○	1645.0	(104)	○	99	2020.8	(104)	+
館山	15.8	(+0.1)	○	1457.0	(83)	-	93	1973.3	(101)	○
勝浦	15.6	(+0.1)	○	1699.5	(89)	-	99	1896.9	(97)	-
横浜	15.8	(+0.3)	○	1411.0	(87)	-	96	2045.1	(106)	+
長野	11.6	(-0.1)	○	868.0	(96)	○	116	1915.5	(101)	○
松本	12.0	(+0.5)	+	653.0	(64)	-*	82	2140.1	(102)	○
諏訪	11.2	(+0.4)	+	826.0	(63)	-*	94	2192.0	(104)	+
軽井沢	8.2	(+0.3)	○	1001.0	(84)	-	126	2037.9	(108)	+
飯田	12.7	(+0.2)	○	1142.0	(71)	-*	116	2087.5	(105)	+
甲府	14.9	(+0.6)	+	818.0	(74)	-	75	2278.5	(107)	+
河口湖	10.5	(+0.2)	+	1161.5	(77)	-	88	2073.6	(108)	+
静岡	16.5	(+0.2)	○	1707.5	(74)	-*	93	2245.9	(110)	+*
浜松	16.1	(+0.1)	○	1212.5	(65)	-*	89	2373.4	(110)	+*
御前崎	16.1	(0.0)	○	1777.0	(86)	-	98	2373.2	(107)	+
三島	15.8	(+0.2)	○	1381.5	(74)	-	92	2073.5	(108)	+
石廊崎	16.3	(-0.2)	○	1715.5	(94)	○	98	2179.7	(104)	+
網代	16.0	(+0.1)	○	1583.5	(84)	-	95	1879.7	(105)	+
名古屋	15.7	(+0.3)	○	900.5	(58)	-*	90	2101.7	(102)	○
伊良湖	16.0	(+0.3)	+	1026.5	(63)	-*	80	2288.9	(103)	+
岐阜	15.9	(+0.4)	+	1451.0	(76)	-	107	2066.9	(99)	○
高山	11.0	(+0.4)	+	1590.0	(92)	○	157	1580.2	(98)	○
津	16.1	(+0.6)	+	928.0	(56)	-*	82	2156.3	(107)	+
上野	14.4	(+0.6)	+	973.0	(70)	-*	102	1859.3	(109)	+
尾鷲	16.1	(+0.2)	+	2317.0	(59)	-*	100	2030.3	(106)	+
四日市	14.9	(-0.2)	○	1022.5	(58)	-*	99	2024.9	(103)	○
新潟	13.8	(+0.3)	○	1813.0	(102)	○	179	1561.8	(95)	-
相川	13.7	(+0.1)	○	1551.5	(102)	○	169	1537.4	(93)	-
高田	13.5	(+0.2)	○	3060.0	(110)	+	214	1434.9	(90)	-
富山	14.2	(+0.5)	+	2776.5	(124)	+	202	1515.6	(95)	-
伏木	13.8	(+0.1)	○	2698.5	(123)	+*	192	1544.7	(96)	-
金沢	14.8	(+0.5)	+	2545.0	(103)	○	200	1655.0	(99)	○
輪島	13.5	(+0.3)	○	2372.0	(110)	+	187	1479.1	(94)	-

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比)階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級				
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)			
福井	14.5	(+0.2)	○	2731.0	(121)	+*	193	1566.2	(97)	○
	敦賀	15.3	(+0.3)	○	2642.0	(118)	+	180	1511.1	(95)
彦根	14.8	(+0.4)	+	1423.5	(88)	-	136	1846.6	(101)	○
京都	15.9	(+0.3)	○	954.5	(62)	-*	93	1843.5	(106)	+
	舞鶴	14.8	(+0.5)	+	1625.0	(91)	-	148	1541.7	(101)
大阪	17.0	(+0.5)	+	909.0	(70)	-*	92	2098.3	(107)	+*
神戸	16.8	(+0.3)	+	687.0	(54)	-*	81	2036.7	(104)	+
	豊岡	14.5	(+0.5)	+	2113.5	(106)	+	152	1536.4	(102)
姫路	15.4	(+0.5)	+	753.5	(61)	-*	76	2095.1	(106)	+
洲本	15.3	(0.0)	○	900.5	(62)	-*	90	2146.5	(104)	+
奈良	14.9	(+0.3)	+	911.0	(68)	-*	97	1800.4	(98)	○
和歌山	16.6	(+0.2)	+	986.0	(74)	-*	85	2071.2	(99)	○
	潮岬	16.9	(-0.1)	○	1877.0	(74)	-	98	2276.9	(105)
岡山	16.4	(+0.6)	+	732.5	(64)	-*	71	2115.9	(105)	+
	津山	13.9	(+0.5)	+	992.5	(67)	-*	91	1860.6	(104)
広島	16.1	(0.0)	○	1322.5	(86)	-	81	2144.8	(107)	+
	呉	16.3	(+0.4)	+	1114.0	(78)	-	71	2153.8	(108)
福山	15.5	(+0.5)	+	833.0	(72)	-	66	2167.1	(104)	+
松江	15.0	(+0.4)	+	1473.0	(82)	-*	154	1706.0	(99)	○
	西郷	14.3	(+0.3)	+	1818.0	(104)	○	149	1759.8	(97)
浜田	15.6	(+0.4)	+	1226.5	(72)	-*	117	1743.8	(100)	○
鳥取	14.9	(+0.3)	○	2003.0	(106)	○	152	1696.3	(101)	○
	米子	15.1	(+0.4)	+	1496.0	(84)	-	147	1769.5	(100)
境	15.2	(+0.3)	+	1601.0	(84)	-	154	1713.9	(98)	○
徳島	16.7	(+0.5)	+	998.5	(65)	-*	82	2221.3	(109)	+
高松	16.6	(+0.8)	+	772.0	(69)	-*	85	2075.5]	()	
多度津	16.4	(+0.4)	+	860.0	(79)	-	74	2112.6	(101)	○
松山	16.6	(+0.5)	+	1179.0	(90)	○	82	2074.9	(105)	+
	宇和島	16.6	(+0.1)	○	1622.5	(98)	○	106	2000.5	(104)
高知	17.0	(+0.4)	+	1745.5	(66)	-*	85	2303.0	(109)	+*
	宿毛	16.9	(+0.3)	+	1609.0	(81)	-	101	2198.1	(109)
清水	18.0	(+0.1)	○	1990.0	(82)	-	95	2330.8	(106)	+
室戸岬	16.4	(0.0)	○	1584.5	(67)	-*	90	2328.0	(109)	+*
山口	15.5	(+0.5)	+	1613.0	(86)	-	93	1912.7	(100)	○
	下関	17.0	(+0.8)	+	1433.5	(85)	-	99	1853.4	(98)
萩	15.8	(+0.5)	+	1309.0	(77)	-	102	1734.3	(100)	○

地名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数		日照時間(平年比) 階級	
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)		≥1mm	(h)	(%)	
福岡	17.2	(+0.6)	+	1020.0	(62)	—*	92	1874.6	(101)	○
飯塚	15.9	(+0.5)	+	1262.0	(70)	—*	101	1861.4	(104)	○
大分	16.8	(+0.8)	+	1419.0	(85)	—	61	2073.5	(106)	+
日田	15.5	(+0.4)	+	1310.0	(71)	—*	97	1896.0	(109)	+
長崎	17.2	(+0.3)	+	1373.0	(70)	—	99	1935.3	(104)	+
厳原	15.7	(+0.2)	○	2105.5	(99)	○	96	1928.6	(103)	○
平戸	16.2	(+0.3)	+	1496.5	(70)	—*	99	1836.5	(103)	○
佐世保	17.0	(+0.5)	+	1264.0	(65)	—*	101	1925.8	(100)	○
福江	16.7	(+0.2)	+	2360.0	(100)	○	111	1866.0	(108)	+
佐賀	16.6	(+0.5)	+	1356.5	(72)	—*	98	2041.7	(108)	+
熊本	17.1	(+0.6)	+	1324.5	(66)	—*	94	2057.4	(105)	+
阿蘇	9.6	(0.0)	○	2853.5	(88)	—	124	1528.3	(101)	○
人吉	15.5	(+0.3)	+	2223.5	(92)	○	105	1862.0	(104)	+
牛深	17.9	(+0.1)	○	1812.0	(89)	—	112	1984.6	(102)	+
宮崎	17.4	(+0.1)	○	2219.5	(90)	○	98	2283.2	(109)	++
延岡	16.7	(+0.4)	+	1622.5	(70)	—*	83	2295.2	(108)	+
都城	16.5	(+0.4)	+	2504.0	(102)	○	97	2055.1	(104)	+
油津	18.1	(+0.2)	+	2083.5	(80)	—	100	2104.1	(107)	++
鹿児島	18.5	(+0.2)	+	1988.0	(87)	—	105	2014.8	(105)	+
阿久根	17.2	(+0.3)	+	1957.5	(92)	○	108	1972.6	(102)	○
枕崎	17.7	(-0.1)	○	2311.5	(108)	+	108	1918.8	(101)	○
屋久島	19.4	(+0.2)	+	4492.5	(103)	○	155	1537.3	(102)	○
種子島	19.5	(-0.1)	○	2198.0	(95)	○	113	1876.0	(100)	○
名瀬	21.5	(0.0)	○	2898.0	(99)	○	165	1289.5	(93)	—
沖永良部	22.3	(0.0)	○	1802.0	(91)	—	124	1750.8	(94)	—
那覇	23.1	(+0.4)	+	1947.5	(96)	○	134	1578.1	(87)	—*
名護	22.5	(0.0)	○	1736.5	(82)	—	135	1669.2	(95)	—
久米島	22.9	(+0.2)	+	2025.0	(95)	○	126	1622.4	(93)	—*
宮古島	23.5	(+0.2)	+	2094.0	(104)	○	125	1627.9	(92)	—*
石垣島	24.1	(+0.1)	○	2328.5	(113)	+	127	1725.6	(93)	—*
西表島	23.6	(+0.2)	+	2913.0	(124)	++	144	1638.2	(107)	+
与那国島	23.7	(+0.1)	○	2650.5	(112)	+	148	1466.9	(93)	—
南大東島	23.3	(+0.2)	+	1353.5	(82)	—	101	1975.7	(95)	○

(注) 1. 平年値は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+: 高い (多い) ○: 平年並 -: 低い (少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる (各階級が10個ずつになる) ように決めた。

また、値が1971～2000年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には

かなり高い (多い) かなり低い (少ない)

と表現できる。

3. 値の横に) や] がある場合には、年別値を求める際に使用したデータ (月別値) に欠測等が含まれていることを示す。) 付きの値 (準完全値) は通常のものと同様に扱うことができるが] 付きの値 (資料不足値) については、値の下に記載した統計月数 (統計に用いた、品質が十分な月別値の数) を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

6 順位更新表 2005 年

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

年平均気温高い方からの順位更新

3位以内はなし

年平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

年降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
3	小樽	1547.0	127	1721.5 (1981)	1943	1218.0
	父島	1751.0	137	1875.0 (1989)	1969	1276.7

年降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	名古屋	900.5	58	1061.0 (1994)	1891	1564.6
	津	928.0	56	1008.0 (1987)	1890	1650.3
	伊良湖	1026.5	63	1069.0 (1984)	1947	1624.1
	尾鷲	2317.0	59	2413.0 (1986)	1940	3922.4
	室戸岬	1584.5	67	1593.5 (1995)	1921	2358.3
2	上野	973.0	70	897.5 (1978)	1938	1390.8
	四日市	1022.5	58	996.0 (1978)	1967	1753.3
	京都	954.5	62	880.5 (1994)	1881	1545.4
	姫路	753.5	61	721.0 (1994)	1948	1234.5
	神戸	687.0	54	599.5 (1994)	1897	1264.7
	洲本	900.5	62	805.0 (1994)	1919	1457.4
	奈良	911.0	68	715.5 (1994)	1954	1333.2
	佐世保	1264.0	65	1079.5 (1994)	1947	1949.8
3	諏訪	826.0	63	716.0 (1984)	1945	1307.0
	飯田	1142.0	71	951.5 (1984)	1898	1606.7
	浜松	1212.5	65	1118.5 (1984)	1886	1875.5
	松江	1473.0	82	1105.5 (1973)	1941	1799.4
	岡山	732.5	64	593.2 (1939)	1891	1141.0
	平戸	1496.5	70	1087.5 (1994)	1940	2142.1
	福岡	1020.0	62	891.0 (1994)	1890	1632.3
	日田	1310.0	71	1025.5 (1994)	1943	1842.6

年間日照時間多い方からの順位更新

3位以内はなし

年間日照時間少ない方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	開始年	平年値 h
3	久米島	1622.4	93	1483.9 (1975)	1959	1742.3
	那覇	1578.1	87	1498.2 (1912)	1900	1820.9

(注) 値の横に] がある場合には、年別値を求める際に使用したデータ（月別値）に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている（資料不足値）。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計月数を参照されたい。
平年値とは 1971～2000 年の 30 年間の値を平均したものである。